

高知大学病院：心臓血管外科修練プログラム（プログラム責任者：三浦友二郎）

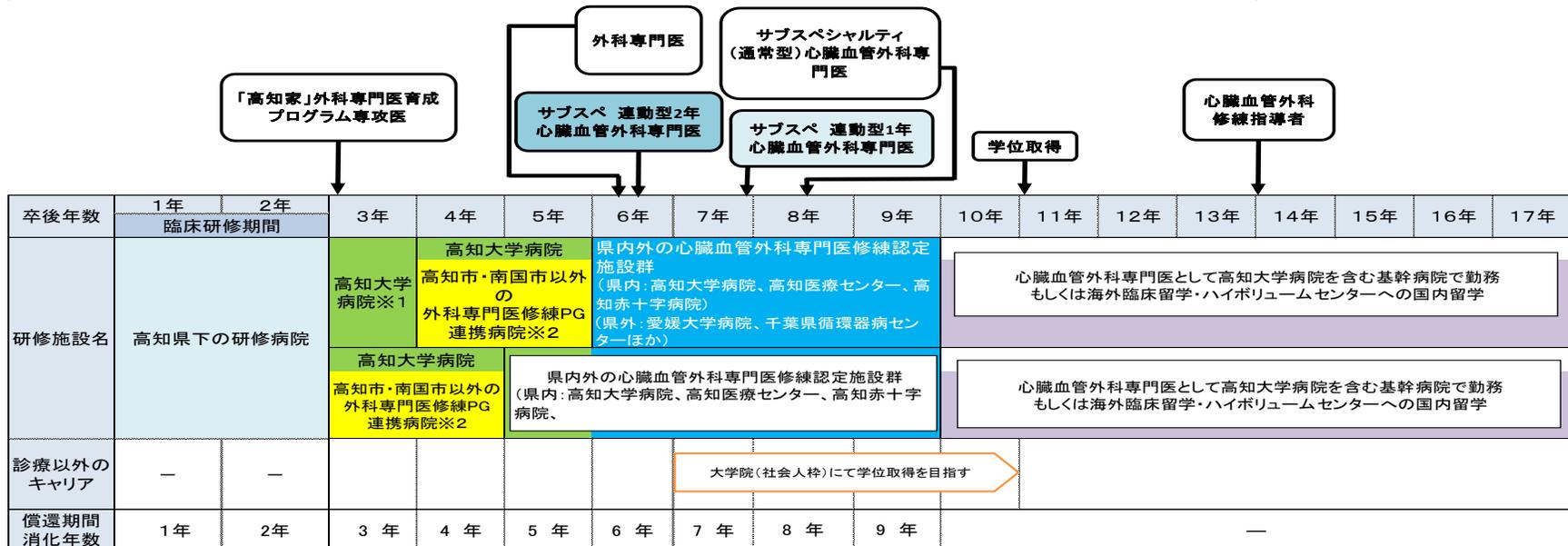
I. プログラムの特色

心臓血管外科は高い技術力を要し、新しい治療法が次々登場する進歩の早い診療科です。治療結果は患者の生命に直結するため、手術技量や周術期の高度な全身管理の知識が必要です。社会から求められる心臓血管外科医となるためには、全身疾患を診る経験や幅広い領域の基礎的な素養が重要です。また、医師としての臨床・研究能力だけでなく医療に携わる職業人としての責任感を重視しています。専攻医には、きめ細かいメンターによる指導の下、習得段階に応じて次のステップの臨床経験を積み、早い時期から積極的な学会・論文発表の機会を提供しています。

II. 目標

- 外科専門医を取得後（通常型または連動型1年および2年）より、外科医としての基本的な知識、手技を習得すると共に、多様化する心臓血管外科領域の専門性の高い臨床的知識および技能の習得を目指します。
- 当プログラムは、高知大学心臓血管外科修練プログラムの修練施設群（四国内4施設、四国外8施設）がシームレスに連携して、国内外どこでも活躍できる能力の高い心臓血管外科専門医を育成することを目的としています。
- 特に低侵襲心臓・血管手術の習得に力を入れており、外科医がカテーテル治療も外科手術もどちらも選択できる『ハイブリッド外科医』の育成を掲げています。
- 医局員一人一人が国際的視野に立った臨床および研究ができるよう国内はもとより海外への学会参加や臨床留学を支援し、世界で活躍できる心臓血管外科医の育成と、地方でも世界レベルの医療が提供できることを目標としています。

III. キャリアパス



※1 希望者には県内の心臓血管外科専門医修練認定施設群(高知大学病院、高知医療センター、高知赤十字病院)での研修も可能。

※2 希望者には1~2年間、高知市・南国市以外の外科専門修練PG連携病院での研修も可能。